

公開シンポジウム

社会的ハイリスク妊娠の支援によって 児童虐待・妊産婦自殺を防ぐ

主催

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

「妊婦健康診査および妊娠届を活用したハイリスク妊産婦の把握と効果的な保健指導のあり方に関する研究」光田班

日時 平成29年11月27日(月) 開場12時45分

開演 13時15分～17時15分

会場 品川インターシティホール

第1部:妊娠期からの切れ目ない児童虐待予防(13:15～15:30)

座長: 松田 義雄 (JCHO 三島総合病院 病院長)・藤原 武男 (東京医科歯科大学大学院 教授)

基調講演:「周産期医療と児童虐待」

光田 信明 (大阪母子医療センター)

講演 1:「社会的ハイリスク妊娠とは?」

倉澤 健太郎 (横浜市立大学)

講演 2:「妊婦健康診査における要支援妊産婦の抽出と支援について」

川口 晴菜 (大阪母子医療センター)

講演 3:「支援を要する妊婦への個別保健指導」

和田 聡子 (大阪母子医療センター)

講演 4:「県内統一の妊娠届書を活用した支援～小児科医の立場から～」

山崎 嘉久 (あいち小児保健医療総合センター)

討論(15分)

第2部:妊産婦の自殺を防ぐ(15:45～17:15)

座長: 板倉 敦夫 (順天堂大学 教授)・荻田 和秀 (りんくう総合医療センター 産婦人科部長)

行政講演:「自殺対策の最新動向」

宮原 真太郎 氏 (厚生労働省 自殺対策推進室長)

基調講演:「妊産婦のメンタルヘルス」

木下 勝之 先生 (日本産婦人科医会 会長)

講演 1:「妊産婦の自殺-その実態」

竹田 省 先生 (順天堂大学 特任教授 日本産科婦人科学会)

講演 2:「妊産婦メンタルヘルスを支える保健指導」

立花 良之 先生 (国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科 医長)

講演 3:「こころを支える-大阪府の試み」

堤 俊仁 先生 (大阪精神科診療所協会 会長)

会場のご案内

品川インターシティホール

〒108-0075 東京都港区港南2-15-4



- JR山手線・京浜東北線・横須賀線・総武本線・東海道本線
「品川駅」港南口より徒歩5分
- 東海道・山陽新幹線「品川駅」
港南口より徒歩5分
- 京急本線「品川駅」港南口より徒歩8分
- 京急本線「北品川駅」より徒歩10分



お問い合わせ 大阪母子医療センター産科内「光田班 公開シンポジウム」事務局 TEL 0725-56-1220 (内線7538)

後援 日本産婦人科医会・日本産科婦人科学会・日本看護協会・日本子ども虐待防止学会